

## 令和7年度 第1回 二宮町地域公共交通活性化協議会議事要旨

開催日時	令和7年6月23日（月）10:00～11:25	
開催場所	二宮町役場 2階 第1会議室	
出席者	委員	出席者17名（うち代理出席3名）、欠席3名
	その他	傍聴者1名
	事務局	政策部企画政策課3名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長及び副会長の選出について</li> <li>3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) にの♥バスの利用状況について</li> <li>(2) 地域公共交通確保維持事業に係わる計画について</li> <li>(3) にの♥バスの運行事業者の変更について</li> <li>(4) にの♥バスの利用促進策について</li> <li>(5) にの♥バスの臨時運行について</li> <li>(6) 令和6年度歳入歳出決算について</li> <li>(7) 令和7年度歳入歳出予算について</li> <li>(8) デマンドタクシーの休止期間延長に係る証明書について</li> <li>(9) その他</li> </ol> </li> <li>4. 閉会</li> </ol>	

### 協議会委員出席名簿

No	氏名	所属団体	出欠	備考
1	宮嶋 智也	二宮町政策部	○	副会長
2	橋山 英人	神奈川中央交通株式会社	○	
3	小嶋 光行	神奈中タクシー株式会社	○	代理
4	小堤 健司	一般社団法人神奈川県バス協会	×	
5	永山 輝彦	一般社団法人神奈川県タクシー協会	×	
6	岩間 靖典	二宮町地区長連絡協議会	○	監事
7	西山 一雄	二宮町ゆめクラブ連合会	○	
8	秋山 周一郎	二宮町PTA連絡協議会	○	代理
9	稲葉 博信	一般公募	○	
10	高見 利和	一般公募	○	
11	森下 文章	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	○	
12	石井 忠孝	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会	○	
13	鳥澤 清志	神奈川県平塚土木事務所	○	代理
14	廣野 修一	神奈川県県土整備局	○	監事
15	安藤 好幸	二宮町都市部	○	
16	野田 繁夫	神奈川県大磯警察署	○	
17	国分 宏樹	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	○	
18	梶田 佳孝	東海大学建築都市学部土木工学科	○	会長
19	和田 隆彦	二宮町福祉部	○	
20	小椋 淳喜	二宮町社会福祉協議会	×	

## 議事概要

### 1. 開会

### 2. 会長及び副会長の選出について

次のとおり選出された。

- ・ 会 長：梶田委員
- ・ 副会長：宮嶋委員
- ・ 監 事：岩間委員、廣野委員

### 2. 議題

◎は会長、○は委員、●は事務局の発言

#### ・ 議題（1）にの♥バス（コミバス）の利用状況について

- 無料期間を設けたことで、こどもの利用が増えたということですが、どこからどの区間が増えているのでしょうか。
- 無料期間中は、密厳院北で乗降している人が多くいたので二宮西中学校の生徒が通学に使用していたと思われます。
- 「にの♥バスの利用状況」ですが、各年度の運行経費は、国の補助金を引いた額なのでしょうか。
- そのとおりです。補助金は、運行事業者を支払われているため3月の運行経費から差し引いて記載しています。
- それだと全体の費用が分かりにくいように思います。
- 補助金については、3月の費用に入れ込むのではなく、別枠に記載するようにします。

#### ・ 議題（2）地域公共交通確保維持事業に係わる計画について

- 交通不便地域の定義はなんのでしょうか。
- 駅やバス停から1km以上離れた地域を交通不便地域としていますが、1km以内であっても、勾配等の地理条件でバス停までのアクセスが悪い地域について町が国に申請をして交通不便地域として指定されています。
- 「目標を達成するために行う事業及びその実施主体」の項目で、「バス停ごとの乗降データを活用し、実績に応じた利用促進策及びバス停・バスルートの改編を検討する。」とありますが、現在の検討状況はどうでしょうか。
- 令和4年10月に県営団地入口まで延伸したのが最後の改変となっています。
- バス停毎の乗降データは取れていて、検討する材料はあるということでしょうか。
- そのとおりです。ただ、毎年見直すということではなく、おおよそ5年に1度程度で見直しをしています。
- どこからどの区間で乗ったというデータはあるのでしょうか。
- それぞれのバス停毎の乗降者のデータのみとなります。
- データを取ることは考えているのでしょうか。
- ◎ ICカードの利用者については確認できがでできると思います。基本的にはバス停毎の乗降者

数を見て検討しています。

- 「地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額」の項目の金額(15,545千円)については、町の負担額ではなく、運行経費なのでしょうか。
- 補助金を除いた、町で負担する額となります。
- 昨年度と比較して額は同じくらいでしょうか。
- ほとんど変わらない額となっています。

・議題(3)にの♥バスの運行事業者の変更について

- 今まで運転手の方は親切で対応がよかったですのですが、神奈中タクシーに移行されることで、対応が悪くならないようにお願いします。
- 既に当社では乗り合い事業を各地で実施しており、乗り合い事業のノウハウがあります。また、運転手についてはコミュニティバスの運転を専門に配置しますので、そういったご心配がないように準備して運用したいと考えています。
- なぜ移行するのでしょうか。
- 神奈川中央交通としては、コミュニティバスを神奈中タクシーに移行することで全体的に業務を大型路線バスに集約したいと考えています。

・議題(4)にの♥バスの利用促進策について

- コミュニティバスは当初、路線バスの撤退等により路線バスが通っていないエリアを中心として交通弱者をカバーするために始めたと思うので、利用者の数を増やすことを第一目的にするのではなく、本当に必要としている人に利用してもらうことがポイントと考えます。高齢の方が買い物の足として利用されているようですので、土日使えないということはマイナスかと思います。費用面の課題はあると思いますが、少なくとも土曜日に運行する形にできないでしょうか。
- 若い人は土日が休みのため、自家用車などで一緒に買い物に出かけるということを耳にします。一方、独居の方もいらっしゃると思いますので、検討したいと思います。
- ◎ トライアル的にやってみるかを含めて検討したいと思います。参考に、路線バスでは土日の利用はいかがでしょうか。
- 当然、通勤通学の方が減るので利用者数は減りますが、日中の利用があります。
- 二宮西中には、百合が丘から通う子がいて、夏が暑くなってきた中で通学が難しくなっています。二宮小学校では通学にバスを使ってよいことになっていて、帰りに利用している子もいるようです。こども達の通学については、コミュニティバスによる輸送を検討しないのでしょうか。

また、拠点校方式(在籍校に希望する部活動がない場合に他校の部活動に入部し参加)が始まり、二宮中学校と二宮西中学校で移動するにあたり、朝練に行けない、平日の移動ができないということがあり、土曜日にしか部活動に出られないことで、実際には他校の部活動を選べない状況にあります。

- コミュニティバスは、二宮西中学校の通学に使用できるダイヤになっています。部活動に伴う移動については、現状の体制では、ダイヤをこれ以上細かくしたり、路線を伸ばすことは難しいです。いただいた意見は教育委員会にお伝えします。
- ◎ ニーノ手形やミーヤ手形をICに対応させるのは難しいのでしょうか。
- システム的に難しいと思います。

- ・ 議題（５）にの♥バスの臨時運行について  
特になし。
- ・ 議題（６）令和６年度歳入歳出決算について  
特になし。
- ・ 議題（７）令和７年度歳入歳出予算について
  - 昨年度の協議会でも指摘しましたが、歳出の国庫補助金については、記載を変えていただきたいと思います。
  - 「運行事業者への補助金」に修正します。
- ・ 議題（８）デマンドタクシーの休止期間延長に係る証明書について
  - 再開の見込みがないにもかかわらず、再開時の手間を減らすために長年にわたり休止を続けていることは望ましくないため、廃止を検討していただきたいと思います。
  - 社内で検討したうえで町と調整し手続きを検討します。
  - この枠組みを生かして中学校間の部活の移動への利用を検討できないでしょうか。
  - 教育委員会としての部活動に伴う移動に対する考え方の問題だと思います。
  - 仮に活用するとしても、大幅な計画の変更等が必要になると思います。
- ・ 議題（９）その他
  - 追加議題 町内地域公共交通の今後のあり方について
    - 昨年５月２９日に神奈川中央交通より、運転士不足等を理由として、本町を運行するバス路線を対象に、地域需要に即した持続可能なモビリティサービスのあり方の協議・検討の申し入れがありました。その後、７月に資料の対象路線図が示され、１１月には乗降者の平均データの提供があり、今年の３月に改めて認識を共有し、協議を進めているところです。  
 こちらの対象路線が減便若しくは廃止されるということで、令和９年３月を再編の目標として方向性を検討します。神奈川中央交通に目標年次を記した文書を依頼したところですので、本協議会で報告させていただきました。
    - 乗務員不足や労働時間の規制により、厳しい状況となっています。乗務員の応募が少なく、高齢化が進んでいます。待遇改善を進めているところですが、運転手がいないと運行できませんので、二宮町に昨年より路線の再編について申し入れをしているところです。
    - ◎ 協議会でも議論いただき、どのようなあり方にすべきか検討していきたいと思います。他の自治体では部会を組織しているところもありますので、本件も同様に集中的に検討したいと思います。
    - バスの利用者は直通で行くと思っており、乗り換えは考えていないと思います。乗り換えするにしても時刻表を調べる等の必要もあり、難しいと思います。ハードは残してソフトで利用者数を増やすという考え方もあると思います。

#### ４．閉会

以上